

情報活用能力を高める技術・家庭科の授業

情報の収集・整理・活用

幡羅中学校（実践者・報告者） 斉藤 要

1 題材名「コンピュータを使って栽培の記録をまとめよう！」

第2学年（技術分野：『技術とものづくり』）

2 題材の目標

生活の中の道具として、デジタルカメラ・イメージスキャナ等の情報機器を積極的に活用し情報を収集したり、コンピュータや適切なソフトウェアで収集した情報を整理して、整理した情報を活用していく。そのような情報活用能力を養うことを目標とする。

3 情報機器活用の意図・情報教育の視点

「情報とコンピュータ」の学習において、情報を活用して生活に生かす力を育成するために次のようなねらいで研究をすすめてみようと考えてみた。

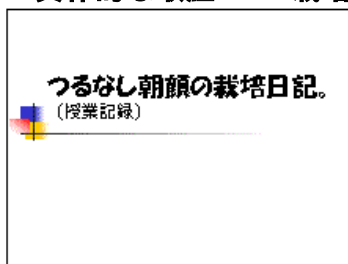
「情報とコンピュータ」の学習のための「情報とコンピュータ」として扱うのではなく、「技術とものづくり」と統合的に学習を進めるかたちとする。「情報とコンピュータ」の学習を「技術とものづくり」の学習の補助的に扱いながらも、能率的・合理的に情報活用能力を育成していきたい。

本校では、第2学年で「技術とものづくり」の学習として栽培を実施している。この栽培の学習や作業、作物の生育状況を『栽培日誌』として、まとめていながら「情報とコンピュータ」の学習を統合的に扱っていく計画を考えてみた。

「情報とコンピュータ」を補助的に扱いながらも、周辺機器やソフトウェアの活用ができる力を身につけさせたい。そのために作物の生育状況にあわせた基本的な作業の繰り返しで、知識と技術の基礎・基本の定着を図りたい。

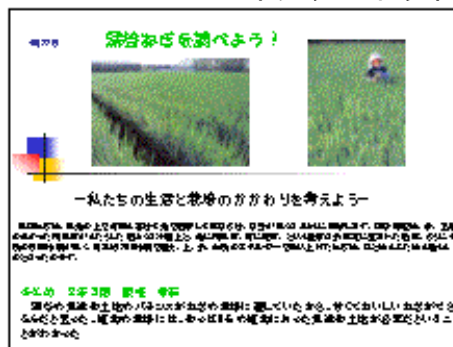
今後、評価においても指導内容・学習活動ごとに具体的な評価方法や細かい評価規準を研究したり、学習目標やそれにとりあう評価の方法を明確に生徒・保護者に示せるようなシラバスの作成も研究していくべきだと考える。

4 具体的な取組 『栽培日誌』の作成

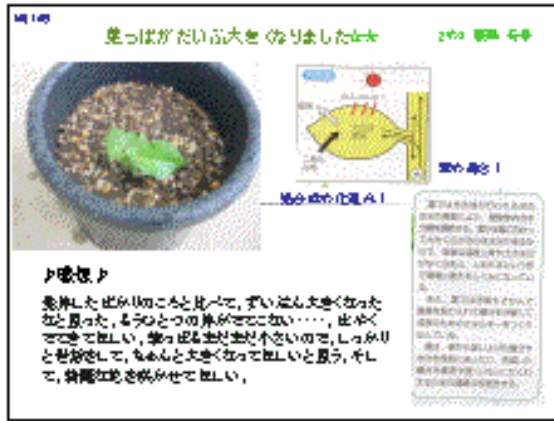


文書処理ソフトウェアは使用せずに、
プレゼンテーションソフトを活用
(文字入力、文字飾り付け)

インターネットから

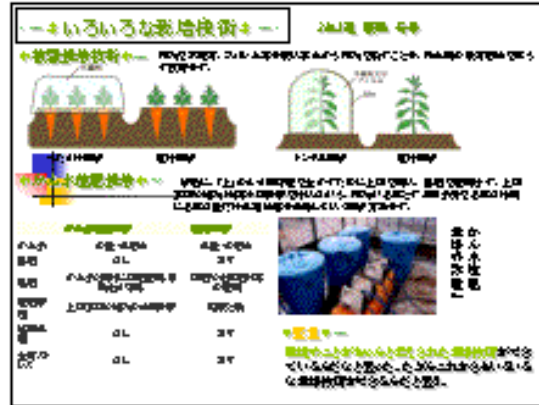


Web上の画像のコピー＆貼付
(右クリックメニュー、著作権)



インターネット情報の検索

周辺機器の利用
(デジタルカメラ、スキャナ)



図形処理ソフト（ペイント）の利用



6 成果と今後の課題

成果としては、各スライドの内容や活用周辺機器、インターネットの利用等を授業毎に個々が決め、背景のデザイン、文字飾り付け、アニメーション効果をつけて、その日の『栽培日誌』としてまとめることで、きりよく作品を完成することができた（2時間続き）。授業毎に作物の生育状況にあわせて、この作業を繰り返していきながら、文字入力や飾り付け、図の挿入や周辺機器の使い方、図形処理ソフトの使い方、インターネット検索等を繰り返し行うことで基本的な操作のしかたが定着した。またネットワークや著作権、プレゼンテーションのしかた等についても栽培学習と統合的に学習することができた。

課題としては、スライドづくりの単調な授業の繰り返しとならぬように、毎時間の個々へのアドバイスが必要となると思う。